

手の爪	7C0	7CL	7CR	7CB
手足	7D0	7DL	7DR	7DB
体幹部	810	81L	81R	81B
背中	820	82L	82R	82B
上背部	830	83L	83R	83B
脇の下	840	84L	84R	84B
全胸部	850	85L	85R	85B
乳房	860	86L	86R	86B
乳房まわり	870	87L	87R	87B
乳首	880	88L	88R	88B
上腹部	890	89L	89R	89B
下腹部	8A0	8AL	8AR	8AB
へそ	8B0	8BL	8BR	8BB
へそのまわり	8C0	8CL	8CR	8CB
臀部	8D0	8DL	8DR	8DB
陰のう	8E0	8EL	8ER	8EB
陰部	8F0	8FL	8FR	8FB
股間部	8G0	8GL	8GR	8GB
肛門部	8H0	8HL	8HR	8HB
肛門周囲	8J0	8JL	8JR	8JB
下肢	910	91L	91R	91B
ふともも	920	92L	92R	92B
ふともも後ろ	930	93L	93R	93B
ふとももとすね	940	94L	94R	94B
膝	950	95L	95R	95B
膝のうら	960	96L	96R	96B
すね	970	97L	97R	97B
ふくらはぎ	980	98L	98R	98B
くるぶし	990	99L	99R	99B
かかと	9A0	9AL	9AR	9AB
足	9B0	9BL	9BR	9BB
足の裏	9C0	9CL	9CR	9CB

足の甲	9D0	9DL	9DR	9DB
足のゆび	9E0	9EL	9ER	9EB
足のゆびの間	9F0	9FL	9FR	9FB
足の爪	9G0	9GL	9GR	9GB
かゆい所	A10	A1L	A1R	A1B
カサカサした所	A20	A2L	A2R	A2B
じくじくした所	A30	A3L	A3R	A3B
ひどい所	A40	A4L	A4R	A4B
褥瘡部	A50	A5L	A5R	A5B
発赤部	A60	A6L	A6R	A6B
発疹部	A70	A7L	A7R	A7B
ストマ部	A80	A8L	A8R	A8B
カテ挿入部	A90	A9L	A9R	A9B
患部	AA0	AAL	AAR	AAB

表 1 4 時間的要素・機器区分コード表

時間的要素・機器区分	コード
ワンショット	1
点滴	2
持続投与	3
持続投与(輸液ポンプ使用)	4
精密持続投与(シリンジポンプ使用)	5

表 1 5 実施環境・施行者区分コード表

実施環境・施行者区分	コード
医療機関・医療従事者	1
医療機関・自己	2
在宅・医療従事者	3
在宅・自己	4

表 16 補足用法区分コード表

補足用法区分	コード
日数間隔指定	I
曜日指定	W
日付指定	D
期間内回数指定	C
不均等	V

記録：

本規格の策定にあたっては以下のメンバーが当初参加・協力した。(氏名順不同、所属は当時)

大江和彦(東京大学、日本医療情報学会標準策定・維持管理部長)、土屋文人(国際医療福祉大学、内服薬処方せんの記載方法の在り方に関する検討会)、篠田英範(JAHIS)、下邨雅一(富士通)、中田英男(日本電気)、橋詰明英(日立製作所)、山口一人(富士通)、大月宏(日本電気)、望月聡一郎(厚生労働省)

検討WG開催日程：第1回2010年2月26日、第2回2010年3月11日、第3回2010年6月18日、第4回2010年7月1日、第5回2010年8月4日、第6回2010年10月5日

2010年11月21日 日本医療情報学会標準策定・維持管理部会(以下、部会という)の下に正式に「処方用法コード標準化検討WG」が設置され、以下のメンバーとなった。

WG座長：大江和彦

WGメンバー：土屋文人(内服薬処方せんの記載方法の在り方に関する検討会)、古川部会員(薬剤担当)、玉川部会員(歯科担当)、宇都部会員(看護担当)、近藤部会員(臨床担当)、大月宏(日本電気)、篠田英範(JAHIS)、下邨雅一(富士通)、中田英男(日本電気)、橋詰明英(日立製作所)、山口一人(富士通)。

2011年6月17日幕張メッセ国際会議場にて処方用法コード標準化検討WGを開催し、マイナーな修正をもって部会にあげることにした。

2011年9月29日付けで一般社団法人 日本病院薬剤師会と社団法人 日本薬剤師会により、「内服薬、外用薬に関する「標準用法用語集(第1版)」が公表され、本規格のベースとなる標準用法が公式に確定した。これに合わせてマイナーな修正と追加を行い、処方オーダーリングシステム用標準用法『服用回数、服用のタイミングに関する標準用法マスタ』(内服および外用編)が完成した。

2012年2月16日の日本医療情報学会理事会(オンライン)において日本医療情報学会標準として承認された。

2015年11月26日に平成26-27年度厚生労働科学研究(地域医療基盤開発推進研究事業)「電子化した処方箋の標準化様式の整備と運用に関する研究」において、内

服薬と外用薬に限定していた標準用法マスタを注射薬まで拡張するとともに、かねてから懸案であったスケジュール用法、不均等投与用法について仕様が検討され策定された。この成果を反映し、本規格が完成された。本研究班会議のメンバーは以下の通り。大江和彦（東京大学）、大原信（筑波大学）、土屋文人（国際医療福祉大学）、田中勝弥（東京大学）、星本弘之（筑波大学）、池田和之（奈良県立医大）、橋詰明英（JAHIS）、下邨雅一（富士通）、木村雅彦（日本 IBM）、中田英男（日本電気）、窪田成重（富士通）、竹中裕三（パナソニック ヘルスケア）、武井心彩（パナソニック ヘルスケア）、田畑義弘（EM システムズ）。

関係諸氏に対してここに感謝の意を表す。

16桁コード仕様表

用法種別	タイミング種別	第1桁	第2桁	第3桁	第4桁	第5桁	第6桁	第7桁	第8桁	第9桁	第10桁	第11桁	第12桁	第13桁	第14桁	第15桁	第16桁	用法記述の一例		
		基本用法区分	用法詳細区分	タイミング指定区分	1日内のタイミングに関連する情報												時間的要素・機器区分		実施環境・施行者	
内服用法	食事等タイミング基本	1:内服	0~3	1	1日服用(外用)回数	就寝前の服用指定	夕食時の服用指定	昼食時の服用指定	朝食時の服用指定	起床時の服用指定	時刻指定の服用*	—	—	—	—	—	—	1日3回朝食夕食後		
	1日回数と時間間隔明示			2		1日での服用開始時刻*	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1日3回 8時間毎	
	1日回数と服用時刻を明示(時刻指定型Ⅰ)			3		第1服用時刻	第2服用時刻*	第3服用時刻*	第4服用時刻*	第5服用時刻*	第6服用時刻*	第7服用時刻*	第8服用時刻*	—	—	—	—	—	—	1日4回 6時、12時、18時、23時
	1日回数とイベントを明示(時刻指定型Ⅱ)			4		イベント区分	イベント詳細区分	イベント附帯条件区分	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1日3回 哺乳時
外用用法	生活リズム基本	2:外用	A~U	6	時間間隔	就寝前の使用指定	夕の使用指定	昼の使用指定	朝の使用指定	起床時の使用指定	時刻指定の使用*	—	—	—	—	—	—	1日1回就寝時塗布		
	1日回数だけを明示			7		外用回数 の補足情報*	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1日3回程度吸入	
	時間間隔で明示			8		時間間隔 の補足情報*	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2~3時間毎吸入
内服・外用共通	頓用	1:内服 2:外用	0~U	5	1日服用(外用)回数	イベント区分	イベント詳細区分	イベント附帯条件区分*	最低時間間隔*	1日最大用法回数*	—	—	—	—	—	—	—	喘息発作時、3時間以上あけて1日最大3回まで		
注射・注入	上記すべて可能	3:注射 4:注入	0~Z	上記準拠												1~5	1~4			

一の欄は未使用の桁で0を設定する。*の欄はその情報が必要な場合にのみ設定し、不要な場合には0を設定する。

用法コード一覧(内服)

分類	標準用法 整理番号	標準用法記述	標準用法コード(注1)				備考
食事等タイ ミングを基 本とする内 服用法	1101	1日1回起床時	1*11	0000	9000	0000	
	1102	1日1回朝食前	1*11	0001	0000	0000	
	1103	1日1回朝食直前	1*11	0002	0000	0000	
	1141	1日1回朝食直後	1*11	0003	0000	0000	
	1104	1日1回朝食後	1*11	0004	0000	0000	
	1105	1日1回朝食2時間後	1*11	0005	0000	0000	
	1106	1日1回昼食前	1*11	0010	0000	0000	
	1107	1日1回昼食直前	1*11	0020	0000	0000	
	1142	1日1回昼食直後	1*11	0030	0000	0000	
	1108	1日1回昼食後	1*11	0040	0000	0000	
	1109	1日1回昼食2時間後	1*11	0050	0000	0000	
	1110	1日1回夕食前	1*11	0100	0000	0000	
	1143	1日1回夕食直前	1*11	0200	0000	0000	
	1144	1日1回夕食直後	1*11	0300	0000	0000	
	1111	1日1回夕食後	1*11	0400	0000	0000	
	1112	1日1回夕食2時間後	1*11	0500	0000	0000	
	1113	1日1回就寝前	1*11	1000	0000	0000	外用用法の整理 番号2105の注を 参照
	1114	1日1回空腹時	1*41	4800	0000	0000	注2
	1115	1日2回朝食前と就寝前	1*12	1001	0000	0000	
	1116	1日2回朝食後と就寝前	1*12	1004	0000	0000	
	1117	1日2回朝食直前	1*12	0011	0000	0000	
	1145	1日2回朝食直後	1*12	0022	0000	0000	
	1118	1日2回朝食後	1*12	0044	0000	0000	
	1119	1日2回朝夕食前	1*12	0101	0000	0000	
	1146	1日2回朝夕食直前	1*12	0202	0000	0000	
	1147	1日2回朝夕食直後	1*12	0303	0000	0000	
	1120	1日2回朝夕食後	1*12	0404	0000	0000	
	1121	1日2回朝夕食事2時間後	1*12	0505	0000	0000	
	1122	1日2回昼夕食前	1*12	0110	0000	0000	
1148	1日2回昼夕食直前	1*12	0220	0000	0000		
1123	1日2回昼食前と就寝前	1*12	1010	0000	0000		
1124	1日2回昼夕食後	1*12	0440	0000	0000		
1125	1日2回昼食後と就寝前	1*12	1040	0000	0000		
1126	1日2回夕食前と就寝前	1*12	1100	0000	0000		
1127	1日2回夕食後と就寝前	1*12	1400	0000	0000		
1128	1日3回朝食夕食前	1*13	0111	0000	0000		
1129	1日3回朝食夕食直前	1*13	0222	0000	0000		

	1149	1日3回朝昼夕食直後	1*13	0333	0000	0000	
	1130	1日3回朝昼夕食後	1*13	0444	0000	0000	
	1131	1日3回朝昼夕食後2時間	1*13	0555	0000	0000	
	1132	1日3回朝昼食前と就寝前	1*13	1011	0000	0000	
	1133	1日3回朝昼食後と就寝前	1*13	1044	0000	0000	
	1134	1日3回朝夕食前と就寝前	1*13	1101	0000	0000	
	1135	1日3回朝夕食後と就寝前	1*13	1404	0000	0000	
	1136	1日3回昼夕食前と就寝前	1*13	1110	0000	0000	
	1137	1日3回昼夕食後と就寝前	1*13	1440	0000	0000	
	1138	1日4回朝昼夕食前と就寝前	1*14	1111	0000	0000	
	1139	1日4回朝昼夕食後と就寝前	1*14	1444	0000	0000	
	1140	1日5回朝昼夕食後、15時、就寝前	1*15	1444	0P00	0000	
1日回数と 時間間隔を 明示した内 服用法	1201	1日2回12時間毎	1*22	0000	0000	0000	
	1202	1日3回8時間毎	1*23	0000	0000	0000	
	1203	1日4回6時間毎	1*24	0000	0000	0000	
	1204	1日6回4時間毎	1*26	0000	0000	0000	
	1205	1日8回3時間毎	1*28	0000	0000	0000	
1日回数と 服用時刻を 明示した内 服用法（時 刻指定型 I）	1301	1日1回N1時	1*31	N000	0000	0000	注3
	1302	1日2回N1時、N2時	1*32	NN00	0000	0000	注3
	1303	1日3回N1時、N2時、N3時	1*33	NNN0	0000	0000	注3
	1304	1日4回N1時、N2時、N3時、N4時	1*34	NNNN	0000	0000	注3
	1305	1日5回N1時、N2時、N3時、N4時、N5時	1*35	NNNN	N000	0000	注3
	1306	1日6回N1時、N2時、N3時、N4時、N5時、N6時	1*36	NNNN	NN00	0000	注3
	1307	1日8回N1時、N2時、N3時、N4時、N5時、N6時、N7時、N8時	1*38	NNNN	NNNN	0000	注3
1日回数と イベントを 明示した内 服用法（時 刻指定型 II）	1401	1日1回哺乳時	1*41	B700	0000	0000	
	1402	1日2回哺乳時	1*42	B700	0000	0000	
	1403	1日3回哺乳時	1*43	B700	0000	0000	
	1404	1日4回哺乳時	1*44	B700	0000	0000	
	1405	1日5回哺乳時	1*45	B700	0000	0000	
	1406	1日6回哺乳時	1*46	B700	0000	0000	
	1407	1日8回哺乳時	1*48	B700	0000	0000	
	1408	1日10回哺乳時	1*4A	B700	0000	0000	
	1409	1日12回哺乳時	1*4C	B700	0000	0000	
	1114	1日1回空腹時	1*41	4800	0000	0000	注2
	1601	疼痛時	1*50	1100	0000	0000	
	1602	頭痛時	1*50	1200	0000	0000	
	1603	歯痛時	1*50	1300	0000	0000	
	1604	胸痛時	1*50	1400	0000	0000	

頓用型の内
服用法

1605	腹痛時	1*50	1500	0000	0000	
1606	腰痛時	1*50	1600	0000	0000	
1607	関節痛時	1*50	1700	0000	0000	
1608	喘鳴時	1*50	2100	0000	0000	
1609	喘息発作時	1*50	2200	0000	0000	
1610	喉がゴロゴロする時	1*50	2300	0000	0000	
1611	しゃっくり時	1*50	2400	0000	0000	
1612	咳込時	1*50	2500	0000	0000	
1613	血圧上昇時〇〇mHg以上	1*50	3170	0000	0000	注 4
1614	血糖値〇〇mg/dL以上	1*50	3270	0000	0000	注 4
1615	便秘時	1*50	4100	0000	0000	
1616	お腹がゴロゴロする時	1*50	4200	0000	0000	
1617	下痢時	1*50	4300	0000	0000	
1618	嘔吐時	1*50	4500	0000	0000	
1619	吐き気時	1*50	4700	0000	0000	
1620	空腹時	1*50	4800	0000	0000	
1621	出血時	1*50	4900	0000	0000	
1622	乏尿時〇〇mL/時間未満	1*50	5150	0000	0000	注 4
1623	多尿時	1*50	5200	0000	0000	
1624	むくみ時	1*50	5300	0000	0000	
1625	不眠時	1*50	6100	0000	0000	
1626	不安時	1*50	6200	0000	0000	
1627	不穏時	1*50	6300	0000	0000	
1628	いらいら時	1*50	6400	0000	0000	
1629	けいれん時	1*50	6500	0000	0000	
1630	めまい時	1*50	6600	0000	0000	
1631	疲労時	1*50	6700	0000	0000	
1632	発熱時(〇〇度以上)	1*50	7170	0000	0000	注 4
1633	悪寒時	1*50	7200	0000	0000	
1634	かゆい時	1*50	8100	0000	0000	
1635	発疹時	1*50	8200	0000	0000	
1636	発作時	1*50	9100	0000	0000	
1637	症状ある時	1*50	9200	0000	0000	
1638	検査前	1*50	A120	0000	0000	必須指示 注 5
1639	検査時	1*50	A220	0000	0000	必須指示 注 5
1640	検査後	1*50	A320	0000	0000	必須指示 注 5
1642	手術前	1*50	A420	0000	0000	必須指示 注 5
なし	手術中	1*50	A520	0000	0000	必須指示 注 5
1642	手術後	1*50	A620	0000	0000	必須指示 注 5
1643	処置前	1*50	A720	0000	0000	必須指示 注 5
1644	処置時	1*50	A820	0000	0000	必須指示 注 5

1645	処置後	1*50	A920	0000	0000	必須指示 注5
1646	起床時	1*50	B100	0000	0000	
1647	入浴前	1*50	B200	0000	0000	
1648	食事前	1*50	B300	0000	0000	
1649	食事後	1*50	B400	0000	0000	
1650	就寝前	1*50	B500	0000	0000	
1651	外出時	1*50	B600	0000	0000	
1652	哺乳時	1*50	B700	0000	0000	
1653	必要時	1*50	W100	0000	0000	
1654	適宜	1*50	W200	0000	0000	

(注1)2桁目の*は、用法詳細区分コードで、内服用法の違いにより以下のいずれかのコードを使用する(仕様書表2)。

0: 経口

1: 舌下

2: バッカル(歯茎と頬の間に挟む)

3: 口腔内塗布

(注2)コード体系上は「1日回数と服用時刻を明示した内服用法(時刻指定型I)」であるが、標準用法上食事等をタイミングとするカテゴリに入れられているので、同一のものを両方に記載した。

(注3)表中のN1...N8はそれぞれ、24時制で特定の時刻を表す英字1文字を表す。時刻と英字との対応は以下のとおり(仕様書表5)。

「時刻0~23に対してそれぞれ文字A~Xを対応づける。」

例:1日3回8時、15時、21時の場合、8時は英字I、15時は英字P、21時は英字Vに対応するので、16桁用法コードは1033IPV000000000となる(内服経口で2桁目が0の場合)。

(注4)数値による付帯条件を記述するため、「未満」は7桁目を5、「以上」は7桁目を7で記述する。条件数値そのものは単位とともに別に記述するものとし、用法タイミングコードでは表現しない。「未満」「以上」以外の条件を必要とする場合のコードの使い方については仕様書表7を参照のこと。

(注5)イベント時に必須使用の指示の場合を想定。任意使用の指示の場合には7桁目を2ではなく0とする。詳細は仕様書表7を参照のこと。

用法コード一覧（外用）

分類	標準用法整理番号	標準用法記述	標準用法コード（注1）				備考
生活リズムを基本とする外用用法	2101	1日1回起床時	2*61	0000	9000	0000	
	2102	1日1回朝	2*61	0009	0000	0000	
	2103	1日1回昼	2*61	0090	0000	0000	
	2104	1日1回夕	2*61	0900	0000	0000	
	2105	1日1回就寝時	2*61	1000	0000	0000	注2
	2106	1日2回朝夕	2*62	0909	0000	0000	
	2107	1日2回朝と就寝前	2*62	1009	0000	0000	
	2108	1日2回午前と午後	2*62	0A0A	0000	0000	
	2109	1日3回朝昼夕	2*63	0999	0000	0000	
	2110	1日4回朝昼夕と就寝前	2*64	1999	0000	0000	
1日回数だけを明示した外用用法	2201	1日1回	2*71	0000	0000	0000	
	2202	1日2回	2*72	0000	0000	0000	
	2203	1日3回	2*73	0000	0000	0000	
	2204	1日4回	2*74	0000	0000	0000	
	2205	1日6回	2*76	0000	0000	0000	
	2206	1日3回程度	2*73	A000	0000	0000	
	2207	1日4回程度	2*74	A000	0000	0000	
	2208	1日6回程度	2*76	A000	0000	0000	
	2209	1日1～2回	2*71	2000	0000	0000	
	2210	1日1～数回	2*71	N000	0000	0000	
	2211	1日2～3回	2*72	3000	0000	0000	
	2212	1日3～4回	2*73	4000	0000	0000	
	2213	1日4～5回	2*74	5000	0000	0000	
時間間隔で明示した外用用法（時刻指定型I）	2301	2～3時間毎	2*82	3000	0000	0000	
	2302	4～6時間毎	2*84	6000	0000	0000	
	2401	疼痛時	2*50	1100	0000	0000	
	2402	頭痛時	2*50	1200	0000	0000	
	2403	歯痛時	2*50	1300	0000	0000	
	2404	胸痛時	2*50	1400	0000	0000	
	2405	腹痛時	2*50	1500	0000	0000	
	2406	腰痛時	2*50	1600	0000	0000	
	2407	関節痛時	2*50	1700	0000	0000	
	2408	喘鳴時	2*50	2100	0000	0000	
	2409	喘息発作時	2*50	2200	0000	0000	

頓用型の
外用用法

2410	喉がゴロゴロする時	2*50	2300	0000	0000	
2411	しゃっくり時	2*50	2400	0000	0000	
2412	咳込時	2*50	2500	0000	0000	
2413	血圧上昇時〇〇mHg以上	2*50	3170	0000	0000	注3
2414	血糖値〇〇mg/dL以上	2*50	3270	0000	0000	注3
2415	便秘時	2*50	4100	0000	0000	
2416	お腹がゴロゴロする時	2*50	4200	0000	0000	
2417	下痢時	2*50	4300	0000	0000	
2418	排便時	2*50	4400	0000	0000	注4
2419	嘔吐時	2*50	4500	0000	0000	
2420	口腔乾燥時	2*50	4600	0000	0000	注4
2421	吐き気時	2*50	4700	0000	0000	
2422	空腹時	2*50	4800	0000	0000	
2423	出血時	2*50	4900	0000	0000	
2424	乏尿時〇〇mL/時間未満	2*50	5150	0000	0000	注3
2425	多尿時	2*50	5200	0000	0000	
2426	むくみ時	2*50	5300	0000	0000	
2427	不眠時	2*50	6100	0000	0000	
2428	不安時	2*50	6200	0000	0000	
2429	不穏時	2*50	6300	0000	0000	
2430	いらいら時	2*50	6400	0000	0000	
2431	けいれん時	2*50	6500	0000	0000	
2432	めまい時	2*50	6600	0000	0000	
2433	疲労時	2*50	6700	0000	0000	
2434	発熱時(〇〇度以上)	2*50	7170	0000	0000	注3
2435	悪寒時	2*50	7200	0000	0000	
2436	かゆい時	2*50	8100	0000	0000	
2437	発疹時	2*50	8200	0000	0000	
2438	発作時	2*50	9100	0000	0000	
2439	症状ある時	2*50	9200	0000	0000	
2440	検査前	2*50	A120	0000	0000	必須指示 注5
2441	検査時	2*50	A220	0000	0000	必須指示 注5
2442	検査後	2*50	A320	0000	0000	必須指示 注5
2443	手術前	2*50	A420	0000	0000	必須指示 注5
なし	手術中	2*50	A520	0000	0000	必須指示 注5
2444	手術後	2*50	A620	0000	0000	必須指示 注5
2445	処置前	2*50	A720	0000	0000	必須指示 注5
2446	処置時	2*50	A820	0000	0000	必須指示 注5
2447	処置後	2*50	A920	0000	0000	必須指示 注5
2448	起床時	2*50	B100	0000	0000	

2449	入浴前	2*50	B200	0000	0000	
2450	食事前	2*50	B300	0000	0000	
2451	食事後	2*50	B400	0000	0000	
2452	就寝前	2*50	B500	0000	0000	
2453	外出時	2*50	B600	0000	0000	
2454	哺乳時	2*50	B700	0000	0000	
2455	必要時	2*50	W100	0000	0000	
2456	適宜	2*50	W200	0000	0000	

(注1) 2桁目の*は、用法詳細区分コードで、外用用法の違いによりいずれかのコードを使用する(仕様書表2)。

(注2) 内服用法では「1日1回就寝前」となっており記述が異なる。これは日本病院薬剤師会と日本薬剤師会の「標準用法用語集(第1版)」に合わせたものである。

(注3) 数値による付帯条件を記述するため、「以下」は7桁目を5、「以上」は7桁目を7で記述する。条件数値そのものは単位とともに別に記述するものとし、用法タイミングコードでは表現しない。「以下」「以上」以外の条件を必要とする場合のコードの使い方については仕様書表7を参照のこと。

(注4) 頓用内服用法には存在しないので注意。

(注5) イベント時に必須使用の指示の場合を想定。任意使用の指示の場合には7桁目を2ではなく0とする。詳細は仕様書表7を参照のこと。

3桁目以降のコード・用語対応表

コード(3~16桁目)	用語	備考
1100090000000	1日1回起床時	注1
1100010000000	1日1回朝食前	
1100020000000	1日1回朝食直前	
1100030000000	1日1回朝食直後	
1100040000000	1日1回朝食後	
1100050000000	1日1回朝食2時間後	
1100100000000	1日1回昼食前	
1100200000000	1日1回昼食直前	
1100300000000	1日1回昼食直後	
1100400000000	1日1回昼食後	
1100500000000	1日1回昼食2時間後	
1101000000000	1日1回夕食前	
1102000000000	1日1回夕食直前	
1103000000000	1日1回夕食直後	
1104000000000	1日1回夕食後	
1105000000000	1日1回夕食2時間後	
1110000000000	1日1回就寝前	注2
1210010000000	1日2回朝食前と就寝前	
1210040000000	1日2回朝食後と就寝前	
1200110000000	1日2回朝食前	
1200220000000	1日2回朝食直前	
1200440000000	1日2回朝食後	
1201010000000	1日2回朝夕食前	
1202020000000	1日2回朝夕食直前	
1203030000000	1日2回朝夕食直後	
1204040000000	1日2回朝夕食後	
1205050000000	1日2回朝夕食事2時間後	
1201100000000	1日2回昼夕食前	
1202200000000	1日2回昼夕食直前	
1210100000000	1日2回昼食前と就寝前	
1204400000000	1日2回昼夕食後	
1210400000000	1日2回昼食後と就寝前	
1211000000000	1日2回夕食前と就寝前	
1214000000000	1日2回夕食後と就寝前	
1301110000000	1日3回朝食夕食前	
1302220000000	1日3回朝食夕食直前	
1303330000000	1日3回朝食夕食直後	
1304440000000	1日3回朝食夕食後	
1305550000000	1日3回朝食夕食後2時間	
1310110000000	1日3回朝食前と就寝前	
1310440000000	1日3回朝食後と就寝前	
1311010000000	1日3回朝夕食前と就寝前	
1314040000000	1日3回朝夕食後と就寝前	
1311100000000	1日3回昼夕食前と就寝前	
1314400000000	1日3回昼夕食後と就寝前	
1411110000000	1日4回朝食夕食前と就寝前	
1414440000000	1日4回朝食夕食後と就寝前	
1514440P000000	1日5回朝食夕食後、15時、就寝前	
2200000000000	1日2回12時間毎	
2300000000000	1日3回8時間毎	
2400000000000	1日4回6時間毎	
2600000000000	1日6回4時間毎	
2800000000000	1日8回3時間毎	
31N0000000000	1日1回N1時	注3
32NN000000000	1日2回N1時、N2時	注3
33NNN00000000	1日3回N1時、N2時、N3時	注3

34NNNN00000000	1日4回N1時、N2時、N3時、N4時	注3
35NNNN00000000	1日5回N1時、N2時、N3時、N4時、N5時	注3
36NNNN00000000	1日6回N1時、N2時、N3時、N4時、N5時、N6時	注3
38NNNNNNNN0000	1日8回N1時、N2時、N3時、N4時、N5時、N6時、N7時、N8時	注3
41B70000000000	1日1回哺乳時	
42B70000000000	1日2回哺乳時	
43B70000000000	1日3回哺乳時	
44B70000000000	1日4回哺乳時	
45B70000000000	1日5回哺乳時	
46B70000000000	1日6回哺乳時	
48B70000000000	1日8回哺乳時	
4AB70000000000	1日10回哺乳時	
4CB70000000000	1日12回哺乳時	
41480000000000	1日1回空腹時	
50110000000000	疼痛時	
50120000000000	頭痛時	
50130000000000	歯痛時	
50140000000000	胸痛時	
50150000000000	腹痛時	
50160000000000	腰痛時	
50170000000000	関節痛時	
50210000000000	喘鳴時	
50220000000000	喘息発作時	
50230000000000	喉がゴロゴロする時	
50240000000000	しゃっくり時	
50250000000000	咳込時	
50317000000000	血圧上昇時〇〇mHg以上	
50327000000000	血糖値〇〇mg/dL以上	
50410000000000	便秘時	
50420000000000	お腹がゴロゴロする時	
50430000000000	下痢時	
50440000000000	排便時	注4
50450000000000	嘔吐時	
50460000000000	口腔乾燥時	注4
50470000000000	吐き気時	
50480000000000	空腹時	
50490000000000	出血時	
50515000000000	乏尿時〇〇mL/時間未満	
50520000000000	多尿時	
50530000000000	むくみ時	
50610000000000	不眠時	
50620000000000	不安時	
50630000000000	不穏時	
50640000000000	いらいら時	
50650000000000	けいれん時	
50660000000000	めまい時	
50670000000000	疲労時	
50717000000000	発熱時(〇〇度以上)	
50720000000000	悪寒時	
50810000000000	かゆい時	
50820000000000	発疹時	
50910000000000	発作時	
50920000000000	症状ある時	
50A12000000000	検査前	
50A22000000000	検査時	
50A32000000000	検査後	
50A42000000000	手術前	

50A52000000000	手術中	
50A62000000000	手術後	
50A72000000000	処置前	
50A82000000000	処置時	
50A92000000000	処置後	
50B10000000000	起床時	
50B20000000000	入浴前	
50B30000000000	食事前	
50B40000000000	食事後	
50B50000000000	就寝前	
50B60000000000	外出時	
50B70000000000	哺乳時	
50W10000000000	必要時	
50W20000000000	適宜	
61000900000000	1日1回起床時	注1
61000900000000	1日1回朝	
61009000000000	1日1回昼	
61090000000000	1日1回夕	
61100000000000	1日1回就寝時	注2
62090900000000	1日2回朝夕	
620A0A00000000	1日2回午前と午後	
62100900000000	1日2回朝と就寝前	
63099900000000	1日3回朝昼夕	
64199900000000	1日4回朝昼夕と就寝前	
71000000000000	1日1回	
71200000000000	1日1～2回	
71N00000000000	1日1～数回	
72000000000000	1日2回	
72300000000000	1日2～3回	
73000000000000	1日3回	
73400000000000	1日3～4回	
73A00000000000	1日3回程度	
74000000000000	1日4回	
74500000000000	1日4～5回	
74A00000000000	1日4回程度	
76000000000000	1日6回	
76A00000000000	1日6回程度	
82300000000000	2～3時間毎	
84600000000000	4～6時間毎	

- 注1 内用目的のコード“11000090000000”と外用目的のコード“61000090000000”に同一の用語が割り当てられている。
- 注2 内用目的のコード“11100000000000”の用語は“1日1回就寝前”、外用目的のコード“61100000000000”の用語は“1日1回就寝時”と異なっている(「標準用法用語集(第1版)」に合わせたもの)。
- 注3 コード中のNに設定される時刻文字に対応する時刻数字が用語中に設定される。
- 注4 この用法は外用でのみ使用される。

8桁補足用法コード仕様表

	第1桁	第2桁	第3桁	第4桁	第5桁	第6桁	第7桁	第8桁	用法記述の一例
補足用法種別	補足用法区分	補足用法に関する情報							
日付間隔指定	I	連続服用日数	連続休薬日数	—	—	—	—	—	隔日投与
曜日指定	W	服用有無(日曜)	服用有無(月曜)	服用有無(火曜)	服用有無(水曜)	服用有無(木曜)	服用有無(金曜)	服用有無(土曜)	火曜日、金曜日に服用
日付指定	D	服用月	第1服用日	第2服用日*	第3服用日*	第4服用日*	第5服用日*	第6服用日*	10日、20日、30日に服用
期間内回数指定	C	服用回数を指定する期間	指定期間内の服用回数	—	—	—	—	—	週2回服用
不均等	V	指定するタイミングの服用順	指定したタイミングの服用量 (数字0~9、小数点、Nを使用)						朝1錠、昼2錠、夕3錠服用

—の欄は未使用の桁で0を設定する。*の欄はその情報が必要な場合にのみ設定し、不要な場合には0を設定する。

処方の標準用法記述に関する研究

研究分担者 大原 信 筑波大学附属病院医療情報経営戦略部 教授

研究要旨

昨年度に整備した内服薬・外用薬の標準用法マスタと拡張追加して策定した注射薬の標準用法マスタは、研究者も参加している日本医療情報学会の標準策定・維持部会での検討、並びに日本病院薬剤師会の検討を終え、新たに「処方・注射オーダ標準用法規格」として正式に日本医療情報学会規格として決定された。現在、医療情報標準化推進協議会へ標準規格として申請する段階にある。加えて今年度は、医療安全上の観点から、最も注意が必要であると考えられる「リウマトレックス」を代表とする不均等投与用法、もしくは休薬期間が必要な薬剤の現状について調査を実施し、最後に提言として今回の分担研究をまとめた。

A. 研究目的

①昨年度策定した内服薬・外用薬、および注射薬の標準用法マスタにつき、電子化した処方せんに対応した様式の整備と運用にさらなる検討を加える。

④ ①から③を踏まえ、処方オーダについての用法等についての提言をまとめる。

B. 研究方法

① 昨年度策定した内服薬・外用薬および注射薬の標準用法マスタを電子化された処方せんでの利用を前提としてコード化を整備した。

② 当班の成果を日本医療情報学会の標準策定・維持部会および日本病院薬剤師会にて検討を加え、最終的に厚生労働省が主管する保健医療情報標準化会議での承認を目指し、医療情報標準化推進協議会（HELICS協議会）標準として申請を行う。

③ 医療安全の観点より、最もリスクの高いと考えられる「リウマトレックス」を代表とする不均等投与薬剤ならびに休薬期間が必要な薬剤につき、現状の調査を行った。

C. 研究結果

①昨年度に追加設定した用法ならびにこれまでシステム上のコメント欄で対応されていた、不均等投与の薬剤やインスリンの投与方法について、電子処方せんでの運用を前提としてコード化を行った。（詳細は、田中分担研究員の報告書参照）

②現在、今回の成果は「処方・注射オーダ標準用法規格」として、日本医療情報学会標準規格として同学会ホームページ掲載され、ダウンロード可能である。また、「標準用法用語集」は日本病院薬剤師会のホームページに掲載されダウンロード可能である。今後、厚生労働省の標準規格化を目指して、医療情報標準化推進協議会（HELICS協議会）へ日本医療情報学会より申請中である。この標準規格のバージョン管理を含むメ

メンテナンスは、日本医療情報学会の標準策定・維持部会が必要に応じて行う体制とした。

③ 筑波大学附属病院の内服薬投与歴より、不均等投与の用法オーダで投与された薬剤を電子カルテデータウェアハウスより抽出した。その結果、不均等投与オーダにてオーダされた用法は154用法、対象薬剤は複数規格の薬剤も含めると181剤にのぼった。この中より、不均等投与用法オーダにてオーダされているが、事実上1回投与や2回投与となっているものを排除し、薬剤についても、比較的安全と考えられる緩下剤や投与方法が頓用中心である薬剤を除き、本院が定めるハイリスク薬（別表参照）に該当するものを更に抽出した。

本院におけるハイリスク薬の分類

平成27年12月3日

分類	処方 +注射	処方薬	注射薬
抗がん・免疫抑制	237	129	108
麻酔・筋弛緩・鎮静	94	42	52
抗血栓	79	57	22
循環作動・抗不整脈	41	2	39
インスリン・糖尿病	141	121	20
総数	592	351	241

以下は本院での略号表示

- A (化) : 抗がん・免疫抑制
- B (鎮) : 麻酔・筋弛緩・鎮静
- C (栓) : 抗血栓
- D (循) : 循環作動。抗不整脈
- E (糖) : インスリン・糖尿病

その結果以下の16の薬剤が抽出された。

オキシコンチン錠 10mg	B(鎮)
オキシコンチン錠 5mg	B(鎮)
コートリル錠 10mg	A(化)
セイブル錠 50mg	E(糖)
ティーエスワン配合OD錠 T20	A(化)
ティーエスワン配合カプセル T20	A(化)
ネオーラルカプセル 50mg	A(化)
プレドニゾン錠 1mg	A(化)
プレドニン錠 5mg	A(化)
プログラフカプセル 0.5mg	A(化)
ペルサンチン錠 25mg	C(栓)
ミコフェノール酸モフェチルカプセル 250mg 「ファイザー」	A(化)
メトレキサート錠 2mg「タナベ」	A(化)
メトレート錠 2mg	A(化)
メドロール錠 2mg	A(化)
リウマトレックスCap 2mg	A(化)

さらに処方オーダ歴・薬剤マスタより休薬期間が必要な薬剤についても、同様にデータウェアハウスより抽出を行った。その結果、休薬期間が必要な薬剤は69種類であり、同様に本院のハイリスク薬に分類される薬剤は複数規格も含め以下の35品目が抽出された。

(0.3mg/日)デュロテップ MT パッチ 2.1mg	B(鎮)
(0.6mg/日)デュロテップ MT パッチ 4.2mg	B(鎮)
(1.8mg/日)デュロテップ MT パッチ 12.6mg	B(鎮)
(2.4mg/日)デュロテップ MT パッチ 16.8mg	A(化)
メトレート錠 2mg	A(化)
メトレキサート錠 2mg「タナベ」	A(化)
リウマトレックスCap 2mg	A(化)
ラステットS Cap 25mg	A(化)
ラステットS Cap 50mg	A(化)
テモダールカプセル 20mg	A(化)
テモダールカプセル 100mg	A(化)
フルダラ錠 10mg	A(化)
プロカルバジンCap 50mg	A(化)
ロンサーフ配合錠 T15	A(化)
ロンサーフ配合錠 T20	A(化)
スーテントカプセル 12.5mg	A(化)
スチバーガ錠 40mg	A(化)
レブラミドカプセル 5mg	A(化)
ポマリストカプセル 1mg	A(化)
ポマリストカプセル 2mg	A(化)
ポマリストカプセル 3mg	A(化)
ポマリストカプセル 4mg	A(化)
アルケラン錠 2mg	A(化)
ユーエフティ配合カプセルT 100mg	A(化)
ユーエフティE顆粒100mg包	A(化)
ユーエフティE配合顆粒T 150mg包	A(化)
ユーエフティE顆粒200mg包	A(化)
ティーエスワン配合 OD 錠 T20	A(化)
ティーエスワン配合 OD 錠 T25	A(化)
ティーエスワン配合カプセル T20	A(化)
ティーエスワン配合カプセル T25	A(化)
ティーエスワン配合顆粒 T 20mg包	A(化)
ティーエスワン配合顆粒 T 25mg包	A(化)
メトレキサート錠 2.5mg	A(化)
マブリン散 10mg/g	A(化)

標準用法が整備されたのち、実際の医療現場では、これらの不均等投与や休薬

期間が必要な薬剤の処方オーダが最も注意が必要なオーダとなろう。休薬期間が必要な薬剤の多くは、化学療法に用いられる抗がん剤である。筑波大学附属病院では、そのためこれらの薬剤のオーダ時に、用法に注意する旨の warning を出すようにシステム設定を行っている。

④提言（まとめ）

内服薬処方せんの記載方法については、医療安全の観点から5年前に厚生労働省による検討会が設置された。その報告として、一回量と一日量を併記する短期的対策および、国際的な標準用法であり、注射薬と同じ一回量処方とするあるべき姿（長期的対策）が提言されている。しかしながら、その普及は、十分ではなく、医療機関では従来の慣習に則り、内服薬の処方せんの記載方法を一日量処方としている施設が多い。また、システムベンダーもシステム上は対応可能としながらも、これらの仕様がデフォルトにはなっていない。一方、薬剤側でもDDS (Drug delivery System) の進歩により、重要な薬理作用を持つ薬剤の一日一回量投与化が進み、記載方法が一日量であっても事実上、一回量処方と同様にオーダできるようになった。

今回の研究班全体の成果として、電子化した処方せんにも対応した「処方・注射オーダ標準用法規格」がまとめられた意義は大きい。今後はその普及が課題となろう。一刻も早い厚生労働省標準規格化が望まれる。

今回の標準規格は、電子処方せん運用を前提としており、処方せんの電子